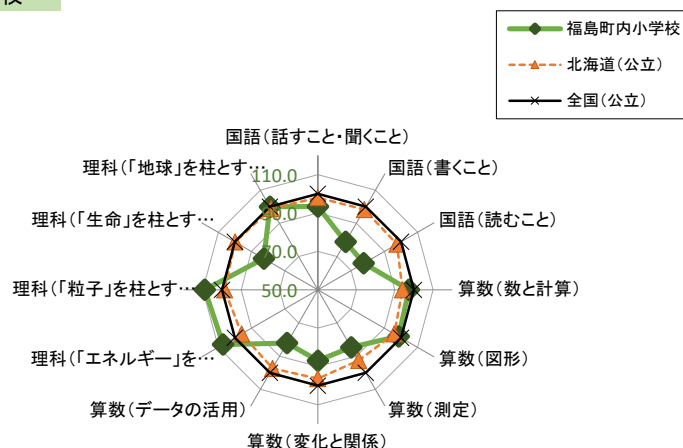


○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

小学校



【平均正答率・平均IRTスコア】

	小学校		
	国語	算数	理科
福島町	56.1	51.8	56.3
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3
全国(公立)	66.8	58.0	57.1

【学校質問】

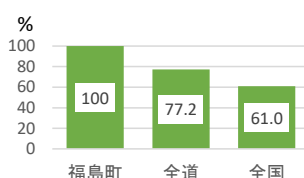
学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしなが、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



■「よく行った」及び「どちらかといえば、行った」

【学校質問】

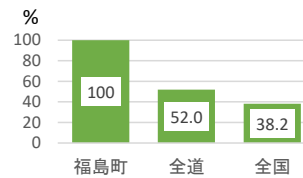
前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



■「ほぼ毎日」

【学校質問】

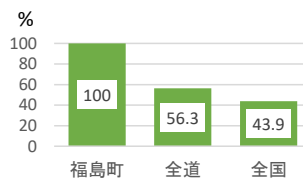
算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか



■「よく行った」

【学校質問】

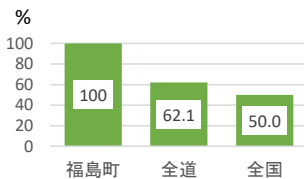
理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか



■「よく行った」

【学校質問】

理科の授業において、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか



■「よく行った」

○ 調査結果からの分析及び課題

【国語】

学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしなが、他者と意見交換したり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫したことにより、国語の「話すこと・聞くこと」領域の平均正答率が、全国に近付くなど一定の成果を得ることができたと考えられる。

「読むこと」領域の解答状況や、調査後半の設定問に対し、無解答の児童が見られたことから、正しい言葉の使い方や問われていることが理解できるように様々な文章に触れ、読む力(読み取る力)を育む取組の充実が、今後の課題の一つである。

【算数】

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でほぼ毎日活用したり、算数の授業において、図形を画面上で自由に移動させ視覚的に納得感をもちながら思考する学習を行ったことにより、算数の「図形」領域の平均正答率が、全道を上回ったと考えられる。

「データの活用」領域の解答状況から、比較などの目的に応じて、適切なデータをグラフ内から選び出し、理由を含め数学的な言葉を使い説明するなどの取組の充実が、今後の課題の一つである。

【理科】

理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導をよく行ったり、観察や実験の結果を整理し、考察する指導をよく行ったりしたことにより、理科の「エネルギー」及び「粒子」を柱とした領域の平均正答率が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

「生命」を柱とした領域の解答状況から、顕微鏡等の観察器具の正しい使い方について理解するなどの取組の充実が、今後の課題の一つである。

○ 今後の取組方策について

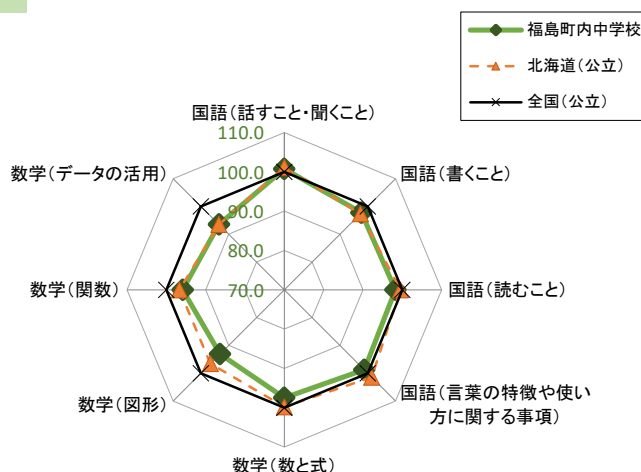
- ・学校全体で児童の状況を共有する機会を定期的に設けたり、生徒指導に係る教職員研修を位置付けることにより、発達支持的生徒指導の充実を図るとともに、主体的に学ぶ児童の育成に取り組む。
- ・福島アカデミーにおける学力向上に係る研修を推進することにより、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためのICTの効果的な活用に取り組む。
- ・児童の確かな学力の定着を図るために、教員の授業力向上に取り組む。

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

中学校



【平均正答率・平均IRTスコア】

中学校			
	国語	数学	理科
福島町	54.5	40.0	481
北海道(公立)	54.0	46.7	505
全国(公立)	54.3	48.3	503

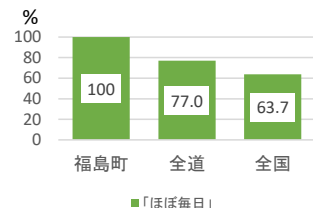
【学校質問】

前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



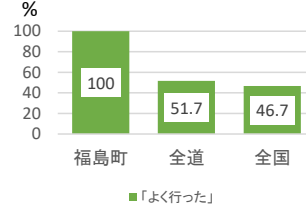
【学校質問】

前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



【学校質問】

国語の授業において、前年度までに文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるような指導は行いましたか



【学校質問】

数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか



【学校質問】

理科の授業において、前年度までに、観察や実験の結果を分析し解釈する指導は行いましたか



○ 調査結果からの分析及び課題

【国語】

学習指導において、文章の表記や語句の使い方に気を付けて、内容の要約や登場人物の性格等を読み取るなどの学習に他と交流し思考を深めながら取り組んできたことにより「読むこと」の領域で全道、全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

「書くこと」領域の解答状況により、文字数や言葉の使い方や叙述の仕方など示された条件に合わせて文章を書くこと。また、そのように書いた理由を説明するなど、思考を深める取り組みの充実が、今後の課題の一つである。

【数学】

学習指導において、問題の答えを求めさせるだけでなく、その答えに至った理由を筋道を立てて説明する学習に取り組んだことにより、確率の起こりやすさの傾向を捉え、数学的な表現を用いて説明する問いにおいて、全国、全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

「関数」の領域において、解答状況から、一次関数の $Y=aX+b$ の式の意味とグラフの書き方について、また、「変化の割合」や「増加量」などの語句の使い方と式やグラフとの関連について、改めて確認などの取組の充実が、今後の学習課題の一つである。

【理科】

学習指導において、実験を行い、結果を整理する段階で、ICT機器を活用し、他の結果や考え方と比べながら分析することに取り組んできたことにより、観察による結果を整理し、考察する問いにおいて、全国、全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

「生命」及び「粒子」を柱とする領域について、それぞれの領域の学習内容を整理するとともに、事象と学習内容を関連付けて考える取組の充実が、今後の課題の一つである。

○ 今後の取組方策について

- ・学校全体で生徒の状況を共有する機会を定期的に設けたり、生徒指導に係る教職員研修を位置付けることにより、発達支持的生徒指導の充実を図るとともに、主体的に学ぶ生徒の育成に取り組む。
- ・福島アカデミーにおける学力向上に係る研修を推進することにより、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためのICTの効果的な活用に取り組む。
- ・生徒の確かな学力の定着を図るために、教員の授業力向上に取り組む。